

手順④ 大地震発生時の災害リスクを確認し、記入

○ 入江・浜田地区の地震による危険

最大震度6強～7の揺れと、液状化の可能性が想定されています。

○震度と体感

| 震度5弱 | 震度5強 | 震度6弱 | 震度6強 | 震度7 |
|-------------------------|-------------------|---------------|----------------|---------------------|
| 大半の人が恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる | 物につかまらないと歩くことが難しい | 立っていることが困難になる | 這わないと動くことができない | 耐震性の高い木造建物でも傾くことがある |

○液状化が発生した場合

マンホールなどの埋設物が浮き上がったり、道路に段差が発生する可能性があります。避難する際には足下に注意しましょう。

○津波のおそれ

- ①自宅に、津波が「到達するのか」、「到達しないのか」？
- ②揺れてから「どのくらいの時間で」津波が到達するのか？
をマップ（「わたしの避難計画」の裏面）で確認しましょう！



○津波が発生した場合

津波は地震発生から短時間で発生します。その破壊力はすさまじく、家屋などの建物を破壊してしまいます。また、スピードが速いため、地震がおさまったらすぐに高台に避難するなどの行動を起こしましょう。

手順⑤ 避難のタイミング、避難先を確認し、記入

津波が来る場合 「津波到達時間」までに、たどり着くことができる「避難先」に避難します。
「到達時間」と「避難先」を、「わたしの避難計画」に書こう！

津波が来ない場合 強い揺れがおさまった後、自宅が安全な場合は自宅で余震に備えます。自宅が危険な場合は、指定避難所などに避難します。
自宅が危険な場合は、「避難先」を「わたしの避難計画」に書こう！

*避難先が分からぬ場合は、静岡市HP(指定緊急避難場所・指定避難所一覧)や
静岡市地理情報システム しづマップで確認しよう!

<目次>

手順① 家族で避難に時間がかかる人がいるか確認



手順② ハザードマップで自宅の災害リスクを確認し、記入



手順③ 避難のタイミング、避難先、情報収集手段を確認し、記入



手順④ 大地震発生時の災害リスクを確認し、記入

手順⑤ 避難のタイミング、避難先を確認し、記入

<見本>

静岡市入江・浜田地区
「わたしの避難計画」 作成日: 令和〇年〇月〇日

別紙の「作成ガイド」を見てチェックしたり、メモしたりしておこう。

①【家族の状況】 ガイド手順❶●参照

- 避難に時間がかかる人
 いる 1人
 いない

●避難に時間がかかる人は、避難時にタイミングを誤ると危険な場合は、必ず「避難タイミング」で確認してください。

大雨が降った時 ガイド手順❷●参照

河川氾濫のおそれ
 おそれなし
 おそれあり
 家屋流出のおそれあり
 洪水深 1.0 m
 河川の氾濫想定区域に居住

土砂災害のおそれ
 おそれなし
 おそれあり
 土砂災害危険箇所
 土砂災害(特別)警戒区域

大雨(河川氾濫・土砂災害)の危険
 あり
 なし

●避難のタイミング
 【高齢者等避難】 → 口 小学校 静岡市公式LINE

●避難先
 【高齢者等避難】 → 口 口小学校 静岡市公式LINE

●情報収集手段
 【高齢者等避難】 → 口 口小学校 静岡市公式LINE

事前の準備
 災害時に持っていくものにチェックを入れよう!
 現金・通帳
 携帯ラジオ
 携帯電話・充電器
 傘・雨具
 飲料水
 非常食
 常備薬・持病薬
 荷物
 マスク
 消毒液
 体温計
 その他

長男の連絡先 054-1000-△△△

手順① 家族で避難に時間がかかる人がいるか確認

- ・家族で避難に時間がかかる人がいるかどうか確認しましょう。
- ・避難に支援が必要な方は、あらかじめ支援してもらう方を決めておきましょう。

